

1 単元名 『竹取物語』を深く読み取って、その魅力について鑑賞文を書こう。

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領小学校第5学年及び第6学年「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導事項「親しみやすい古文や漢文，近代以降の文語調の文章について，大体を知り，音読すること。」と、「読むこと」の指導事項「(1) エ 登場人物の相互関係や心情，場面についての描写をとらえ，優れた叙述について自分の考えをまとめること。」を受ける単元である。生徒たちは小学校の学習で音読を中心に古典の作品を通し，文語体の作品のリズムを楽しく学習している。中学一年生では，学習指導要領第1学年「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導事項「(1) ア (ア) 文語のきまりや訓読の仕方を知り，古文や漢文を音読して，古典特有のリズムを味わいながら，古典の世界に触れること。」と、「読むこと」の指導事項「(1) ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容の理解に役立てること」を目標に学習していく。具体的には音読を中心に古典の文語体のリズムを味わわせたい。また，本文や資料を根拠に物語の疑問点を解決することによって，物語を深く読むことができるようにしたい。その際に個人の時間とグループ活動の時間を取り行わせたい。単元の終わりには『竹取物語』の魅力について鑑賞文を書かせる活動を行い，目標の実現を図りたい。

(3) 指導観

指導に当たっては，古典のリズムを親しむことができるように音読と暗唱を毎回の授業に取り入れたい。

また，【読むこと】の指導を意識して，根拠をもとに自信の考えをまとめることを行わせたい。具体的には『竹取物語』の古典部分を読み，物語の不思議なところを自分で見つけることができるように「どうして物思いがなくなってしまったのか。」や「月に帰るかぐや姫はどのような人か。」など例を示して自分で疑問点を探せるように指導していきたい。そしてその疑問点を古文・訳文・間の説明文・資料から根拠となる部分を探し疑問解決ができるように指導したい。

単元の最後に言語活動として『竹取物語』の「おもしろさ」についての鑑賞文を書かせることで物語を深く読み取ることができたかを評価したい。

3 単元の目標

- ・物語について調べたり，話し合ったりして，その魅力を理解しようとしている。
【国語への関心・意欲・態度】
- ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容の理解に役立てることができる。
【読むこと】
- ・文語のきまりや訓読の仕方を知り，古文や漢文を音読して，古典特有のリズムを味わいながら，古典の世界に触れることができる。
【伝国】

4 指導計画6時間扱い（本時 4/6）

時配		学習内容と学習活動	評価規準（評価方法）
一次 【見出す】	2	<ul style="list-style-type: none"> ○単元で行う言語活動について理解し学習の見通しを持つ。 『竹取物語』の魅力を伝える鑑賞文を書こう。 ○『竹取物語』の概要を知り，全体のあらすじを捉える。 ○歴史的仮名遣いについて学び，物語を読む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文語のきまりや訓読の仕方を知り，古文や漢文を音読して，古典特有のリズムを味わいながら，古典の世界に触れることができる。 【伝国】 ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容の理解に役立てることができる。 【読むこと】
二次 【深める】	2 （本時）	<ul style="list-style-type: none"> ○場面ごとに，考えてみたい課題を出し合い，自分の課題を設定する。 ○各場面で課題となったことについて考え，根拠を示しながら発表をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容の理解に役立てることができる。 【読むこと】 ・物語について調べたり，話し合ったりして，その魅力を理解しようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】 （生徒観察）
三次 【まとめあげる】	1	<ul style="list-style-type: none"> ○『竹取物語』の課題解決を通して，この物語の魅力を考えて鑑賞文を書く。 ※「魅力」の観点を提示して選択させる。 ※教師モデルを用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語について，その魅力を理解しようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】 （生徒観察） ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容の理解に役立てることができる。 【読むこと】
	1	<ul style="list-style-type: none"> ○出来上がった鑑賞文をグループで交流しておもしろさの観点を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語について，その魅力を理解しようとしている。 【国語への関心・意欲・態度】 （生徒観察） ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み，内容の理解に役立てることができる。 【読むこと】

5 本時の指導

(1) 目標

- ・物語について調べたり、話し合ったりして、その魅力を理解しようとしている。

【国語への関心・意欲・態度】

- ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる。

【読むこと】

(2) 展開

時 配	・学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資 料
(10分)	1 前時の内容を確認する。 2 本時の内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 根拠をもとに疑問を解決して、古典の文章を読み取る力を身につけよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いに注意して音読させる。 ・前時で出した、『竹取物語』の疑問を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・教科書 ・資料
(10分)	3 個人で課題について考える。 ※予想される疑問 ①かぐや姫はどうして竹の中にいたのだろうか。 ②竹から小金が出てきたのはなぜだろうか。 ③かぐや姫の成長が3か月で大人になったのはなぜだろうか。 ④かぐや姫は成人で成長が止まったのはなぜだろうか。 ⑤帝が天に近い山で薬と手紙を焼かせたのはなぜだろうか。 ⑥天の羽衣を着るとどうして物思いがなくなってしまうのだろうか。 ⑦天人たちを見た兵士が戦う心を失ってしまったのはなぜだろうか。 ⑧かぐや姫はどのような身分の人なのだろうか。 ⑨かぐや姫が五人の貴公子に無理難題を言ったのはなぜだろうか。 ⑩かぐや姫はどうして帝に手紙を送ったのだろうか。	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠として教科書や資料などを使い、考えをまとめさせる。 (C評価に対する支援) ・教科書の本文や資料を一緒に見てポイントを確認させる。 ○物語について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解しようとしている。 <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】 (観察)</p> <p>○場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てることができる。</p> <p style="text-align: right;">【読むこと】 (観察・ワークシート)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・教科書 ・資料
(20分)	4 グループで疑問を解く。 ※予想される生徒の反応 <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の本文や資料の写真を参考に疑問を解決する。 ・グループで話し合い、班の意見をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで意見を出し合い、ワークシートにまとめさせる。グループは4人組をつくらせる。 ・上位者の一方的な意見だけではなく全員が根拠を示して発言できるように指導する。 ・絵や資料だけではなく本文を用いて疑 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・教科書 ・資料

		<p>問解決するように促す。</p> <p>〈C評価に対する支援〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わからないときは同じグループの子に聞いてもよいことを伝える。 <p>○物語について調べたり、話し合ったりして、そのおもしろさを理解しようとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関心・意欲・態度】 (観察)</p>	
(5分)	<p>5 発表をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの疑問に対し複数の考えがあることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決の様子を見て同じ疑問を班別で発表させるなど工夫する。 <p>○発表を聞いてその魅力を理解しようとしている。 【関心・意欲・態度】 (観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント ・教科書 ・資料
(5分)	<p>6 本時の振り返りをする。</p> <p>振り返りシートに本時の振り返りを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時で身についたこと，理解することのできた内容などを文章表現で自己評価する。 <p>例)・授業を通して古典の文章を深く読み取ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容が理解できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント

(3) 板書計画

<p>疑問⑩</p>	<p>疑問④ 疑問③ 疑問② 疑問①</p>	<div style="border: 2px solid black; width: 80%; margin: auto; padding: 20px;"> <p>本文冒頭部分</p> </div>	<p>竹取物語</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>根拠をもとに疑問を解決して、古典の文章を読み取る力を身につけよう。</p> </div>
------------	------------------------	--	--